

〇〇市における地域ケーブルネットワーク整備事業 整備エリア図(例)

- 三セク所有施設、市所有施設のIRU契約など、所有形態を問わず、当該ケーブルテレビが利用しているネットワークの構成が分かるように、整備エリア内の既設のネットワークについてすべて記載すること。
- IRU契約等を締結している場合は、その旨記載すること。
- 地形分わかるような地図の使用、災害警戒区域の表示に留意し、既設のネットワークと新設のネットワークの表記の違い、所有者が分かるよう記載すること。
- 本事業(複線化、無線化等ごと)によりカバーされるエリアの世帯数およびその加入世帯数について記載すること。

【無線代替ルートカバー世帯数】
 ○○世帯(□□地区)
 うちケーブルテレビ加入世帯△△世帯(加入率○○%)

無線代替ルート整備によりカバーされる世帯数およびその加入整数について記載すること。

新設する■■地区への異ルート

異ルート整備によりカバーされる世帯数およびその加入整数について記載すること。

断線した場合重大な支障が想定される箇所1

断線影響エリア
 □□地区

有線回線が断線となった際の代替として無線による代替ルートを設ける

監視・制御機能の強化に係る整備を行う場合、その概要、当該整備によりカバーされる世帯数およびその加入世帯数、加入率について記載すること。

断線想定箇所1
 洪水氾濫危険区域

想定される災害を明記すること。

【監視・制御機能の強化】
 地図上のエリア内(○箇所)に監視・制御機能を備えた光ノードを新設。

エリア内世帯数
 ○○世帯(〇〇市)
 うちケーブルテレビ加入世帯△△世帯(加入率○○%)

- 事業計画書と対応関係がわかるようにすること。
- 断線した場合の影響エリアがわかるようにすること。

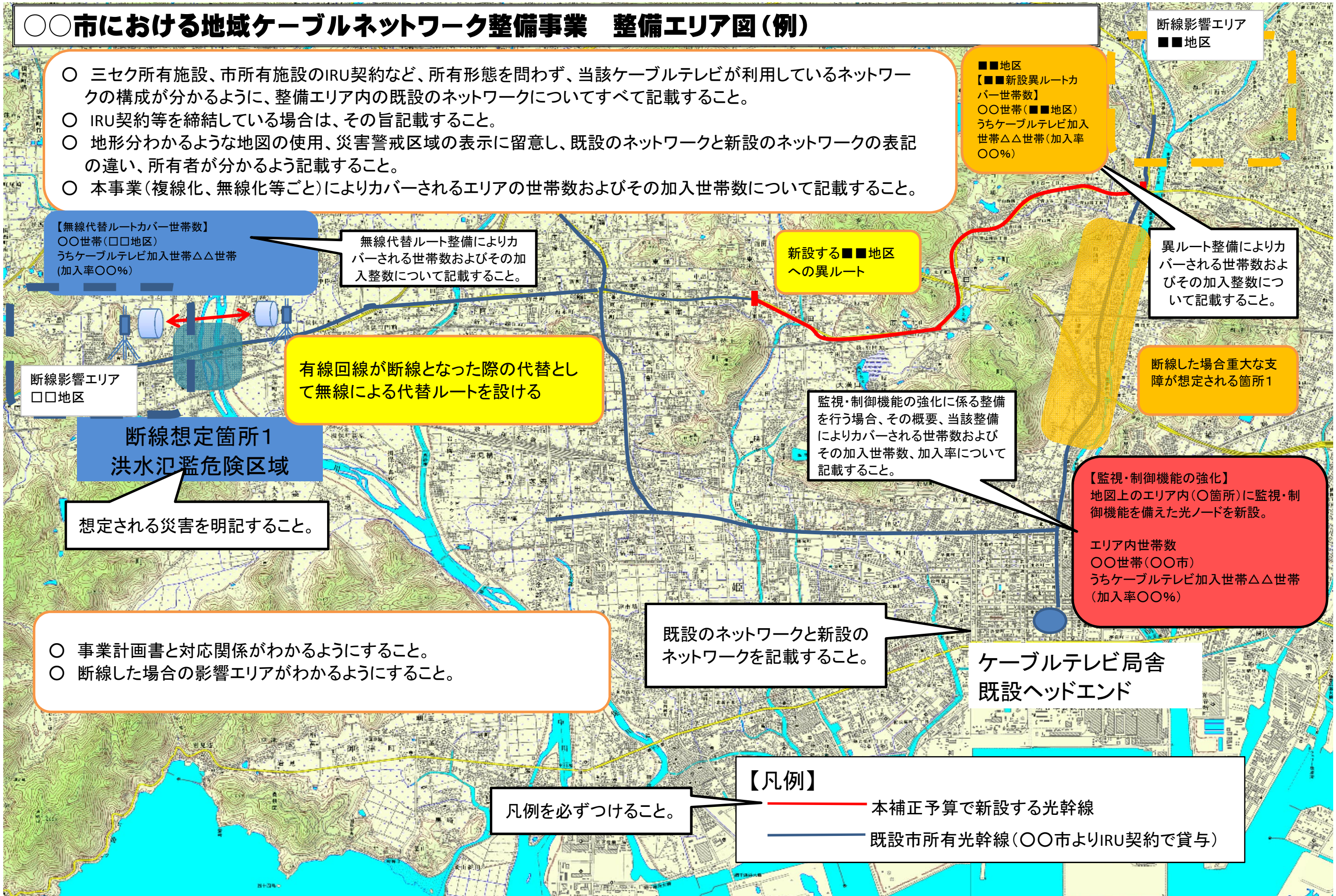
既設のネットワークと新設のネットワークを記載すること。

ケーブルテレビ局舎
 既設ヘッドエンド

【凡例】

凡例を必ずつけること。

- 本補正予算で新設する光幹線
- 既設市所有光幹線(〇〇市よりIRU契約で貸与)



(記載イメージ)

〇〇市回線系統図

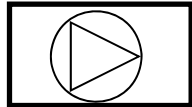
○光系統図については、各団体(事業者)の使用の様式を使用して差支えないが少なくとも以下の内容が分かるものであること。

○GHz帯無線による無線代替ルート

既存の光ファイバを活用する場合には、その芯線数、距離を明示するとともに、その旨を記載すること。

地区名等を記載

〇〇市ケーブルテレビ局舎



12C/0C/0C/12C(2C)/〇〇m

02
12C/0C/0C/10C(2C)/〇〇m

※既設の光ファイバを活用

01

03
8C/0C/0C/8C(2C)/〇〇m

04
4C/0C/0C/2C/〇〇m

07
4C/0C/0C/2C/〇〇m

08
4C/0C/0C/2C/〇〇m

06
4C/4C/4C/2C/〇〇m

4C/0C/0C/2C/〇〇m

4C/0C/0C/2C/〇〇m

4C/4C/4C/2C/〇〇m (■地区)

D
4C/0C/0C/2C/〇〇m

E
4C/0C/0C/2C/〇〇m

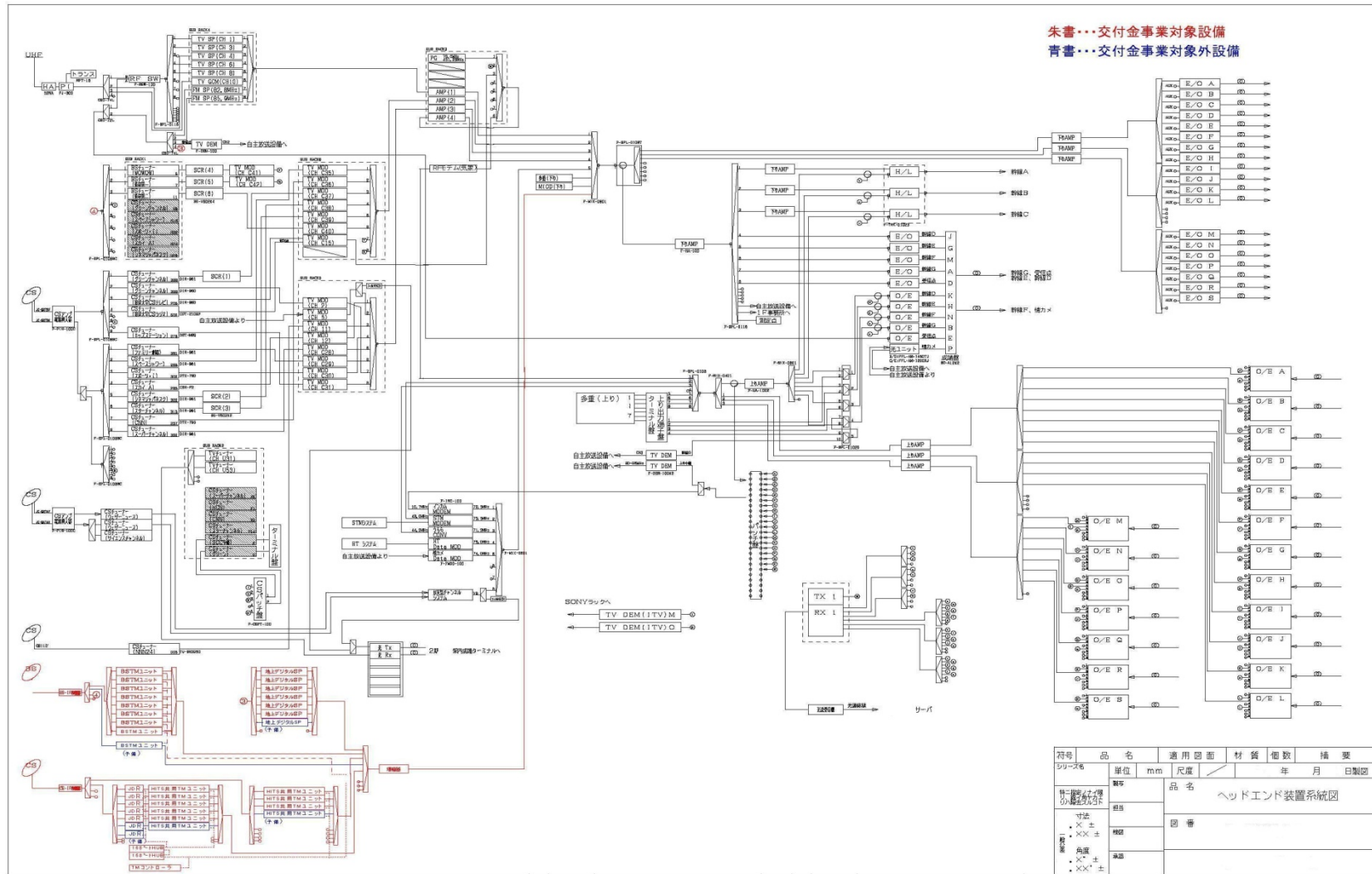
凡例を必ずつけること。

末端は、HFCであればノードまで、FTTHであれば、PON方式の場合、分岐装置までの配置が把握できること、また、SS方式の場合は、加入者に最も近接しているカブラまで把握できるものとする。

凡例

- ・ $O_c/O_c/O_c/O_c(O_c)/O_m$
↑ 全芯数/新設芯数/交付対象芯数/使用芯数(うち既設活用芯数)/敷設距離
- ・ 実線 = 交付対象
- ・ 点線 = 交付対象外/既設使用

- 既設クロージャ
- 新設クロージャ
- ◆ 新設ノード



資料9-1

